

「くまもと能楽街道」熊本城復興祈念能2026 2026.11/3(火・祝) 開演 19:00(開場 18:30 終演 20:30 予定)

会場 熊本城 天守閣前広場

！雨天の場合は、会場を変更いたします。

〔雨天時会場〕

市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)
大会議室[小ホール]



※能楽協会サイトにて
開催場所をご案内
いたします。

チケット料金〔全席自由席〕

一般 6,000円 学生(高校生以下) 3,000円
※イベントレジストでの販売

前売りチケット販売期間 10/8(木)午前10時～11/2(月)

※上記期間を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。
※販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、
販売を終了させていただきますので予めご了承ください。



撮影
辻井清一郎



チケット購入 イベントレジスト



QRチケットレス入場

※学生料金は、イベントレジストのみ
のお取り扱いとなります。

e+ イープラス

(ファミリーマート・アプリ・WEB)



主催・お問い合わせ
公益社団法人能楽協会 TEL:03-5925-3871 <https://www.nohgaku.or.jp>

※能楽協会では、チケット販売を行っておりません。上記取扱所にてお求めください。

熊本城 天守閣前広場 への入場方法について

入場受付は「南口券売所」です。

- 「南口券売所」付近でお並びいただきます。
「北口券売所」からは、お入りいただけません。
- 熊本城は17時閉園です。お客様は全員園外に退出いただきます
(熊本城の通常観覧は別途入園料が必要です)。
- 17時30分より「南口券売所」付近で係員が並び列の誘導を
いたします。係員の指示に従ってください。
- 開場18時30分以降、並び列の前方より順次園内にお入り
いただきます。
- 混乱を避けるため、お待ちいただく場合がございますので、
ご了承ください。

車でお越しの場合 「二の丸駐車場」のみご利用可能です。

※城形苑から二の丸駐車場までの無料シャトルバスの運行はございません。



あなたの日常に、能楽を。公演やワークショップを続々開催！

「くまもと能楽街道」能楽公演 壱の巻

2027.1/30(土) 開演14:00(開場 13:30 終演 16:00 予定)

会場 市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室[小ホール]
(熊本市市民会館)

チケット料金〔全席自由席〕

一般 4,000円
学生(高校生以下) 1,000円

前売りチケット販売期間 11/6(金)午前10時～

番組

トークイベント

熊本城おもてなし武将隊と能楽師の「時空トーク」

狂言 大蔵流「柿山伏」 能 観世流「土蜘蛛」



初めての方でも気軽に『能』と『狂言』を楽しめる公演です。狂言の「笑い」と能の「迫力」、両方に触れられます。
熊本城おもてなし武将隊と能楽師との「時空トーク」も開催。解説や実演を交えながら、能楽の魅力を分かりやすくご紹介します！

熊本城を背景に、能楽の幽玄を体感できる特別公演。城郭と能舞台の響き、熊本ならではの舞台空間が
生まれます。今回は、金春流の能楽師が出演し、熊本にゆかりの深い演目を上演します。

主な出演者



辻井八郎



野村万禄



福王知登



大倉源次郎
(人間国宝)



観世喜正

番組

能「小鍛冶」は、刀匠・三条小鍛冶宗近が稲荷明神の
力を得て名刀を打ち上げる物語です。加藤清正の刀剣
愛好や肥後象嵌など、熊本に息づく刀剣文化とも関わりが
あり、熊本城公演にふさわしい一曲です。

狂言「成上り」は、武士の魂である刀を題材に、人間の
知恵と滑稽さを軽妙に描く喜劇です。寺でのお籠もり
中、主人の大切な太刀を巡って大失態をやらかした太郎
冠者。怒る主人を前に、絶体絶命の冠者が繰り出す
前代未聞の「言い訳」とは一。

熊本と刀剣文化をテーマにしたトークイベントも開催し、演目
の背景と熊本の歴史をあわせてお楽しみいただけます。

●上演中の撮影・録音・録画は固くお断りいたします。 ●出演者は都合により変更させていただく場合がございます。 ●当日は主催者、関係者、メディアによる
撮影が入る場合がございます。客席を含む会場内の映像・写真が公開されますので予めご了承ください。 ●天候等の状況により公演が中止又は変更になる場合が
ございます。最新情報は能楽協会公式サイトをご覧ください。 ●その他の注意事項・最新情報は能楽協会公式サイトをご覧ください。

トークイベント「火の国・熊本と刀剣文化」

熊本県文化課 主任学芸員(熊本市より派遣) 竹原 明理 × 能楽師(シテ方観世流) 観世 喜正

狂言 和泉流「成上り」

能 金春流「小鍛冶」



シテ	太郎冠者	野村	万禄
アド	主人	吉良	博靖
アド	すっぱ	吉住	講
シテ	童子/稲荷明神	辻井	八郎
ワキ	小鍛冶宗近	福王	知登
ワキツレ	桶道成	喜多	雅人
アイ	末社の神	野村	万禄
笛		相原	一彦
小鼓		大倉	源次郎
大鼓		白坂	信行
太鼓		田中	達
後見		本田	光洋
		井上	貴覚
地謡		高橋	忍
		本田	布由樹
		中村	昌弘
		金春	飛翔
		東	軍三
		田中	秀実

ワークショップ 能「土蜘蛛」を知ろう！

2027.1/23(土) 13:00～17:00

会場 熊本市現代美術館5F アートロフト
料金 500円【ご自由に入退場いただけます。】

- 演目の背景解説
- 見どころ紹介
- 蜘蛛の巣投げ体験

能楽公演 壱の巻の演目「土蜘蛛」をより深く楽しむための、
解説と体験を組み合わせたワークショップ！能楽師に
よる解説や土蜘蛛の象徴的な演出である“蜘蛛の巣投げ”
を実際に行い、舞台での所作や動きに触れられます。

他にも能楽を楽しく 体験できるワークショップ を開催予定!!

各公演・ワークショップの詳細や
チケット情報は、決まり次第、
公式サイトにてご確認ください。

※料金・開催内容は変更となる場合があります。



能楽街道サイト



熊本の 能楽の歴史

熊本城には、豊前・豊後・日向・薩摩へ伸びる街道の起点がありました。

熊本は、この街道を通じて人や物が行き交い、多様な文化が育まれてきた土地です。

『くもと能楽街道』は、かつて街道が人と文化をつないできたように、
まちなかで能楽と出会う“新しい出会いの道”をひらく取り組み。

熊本城や市民会館、商店街、文化施設など、まちなかのさまざまな場所の何気ない毎日の中で、
能楽の気配にふと触れられる場をつくっていきます。

ここ熊本では、武家文化として能楽を加藤清正公や細川家が守り、
二つの能の流派「金春流」と「喜多流」を支えたことで芸が根つき、
城下町だけでなく県北にも広がっていききました。

藤崎宮例大祭や北岡神社で続く御神事能は、約400年にわたり受け継がれてきた伝統行事、
県内に複数の能舞台が今も残っているなど、

能楽は生活文化として実は今も皆さんの近くに息づいているのです。

能を「特別な日に観るもの」から、街のにぎわいを生み出す「日常の文化」へ。



SAKURA MACHI Kumamoto／くもと街なか広場



ジューズ・タレル (MILK RUN SKY) 2002年
マリーナ・アブラモヴィッチ (Library for Human Use)
2002年 ©Marina Abramović、熊本市現代美術館

5つの能舞台

熊本県内には、現在も出水神社能楽殿(熊本市)、
藤崎八幡宮能舞台(熊本市)、菊池松囃子能場
(菊池市)、河尻神宮能舞台(熊本市)、段山御旅所
能舞台(熊本市)の5つの能舞台が残り、奉納能や
地域の行事で活用されています。

熊本城公演

令和7年11月11日・12日、熊本城
天守閣前広場で「熊本城 能楽
特別公演」を開催。能「葵上」、
狂言「萩大名」、半能「簞(えびら)」
を上演しました。



本事業は、公益社団法人能楽協会が文化庁の助成を受けて実施する、能楽の普及・振興を目的とした地域連携企画です。
熊本城、市民会館、文化施設などを舞台に、公演・体験・展示を行い、能楽と出会う機会を広げていきます。

お問い合わせ 窓口 くもと能楽街道運営事務局 電話 050-3774-4625 メール kuma-nogaku@sohgo-k.co.jp
(総合企画株式会社内) ホームページ <https://kumamoto-nohgakukaido.jp/>



主催： 能楽協会
THE NOHGAKE PERFORMERS' ASSOCIATION



<https://www.nohgaku.or.jp/>
能楽に関する全国の情報は、能楽協会公式サイトを
ご参照ください。

助成： 文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等と芸術団体との連携による地域活動基盤形成支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援： 熊本市、熊本市教育委員会

熊本日日新聞社、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、エフエム熊本、熊本シティエフエム

能楽と出会う、くもと散歩

伝統芸能のある暮らしを、熊本のまちなかに。
能楽と出会う楽しさを、日常へと軽やかに広がっていきます。

